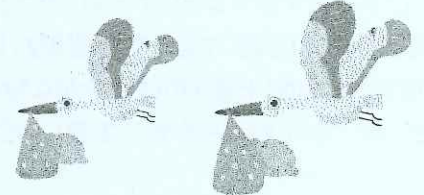


2005年4月1日から



育児・介護休業法が改正されました!

厚生労働省によると、女性の育児休暇取得率は60%を超えています。しかし、その後、職場に復帰するのはその半分以上とも言われています。一方男性は0.5%に満たないそうです。同省の少子化対策として、女性の取得率を80%、男性の方も10%に引き上げるように対策がとられています。

その対策の一環として、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(平成3年法律第76号。以下「育児・介護休業法」といいます)が、このたび改正されました。育児や家族の介護を行う労働者が仕事と家庭生活との両立をより一層推進できるよう、改正され、今年(2005年)4月1日から施行されました。ここでは、育児に関する改正点に的を絞ってその改正点をわかりやすく紹介していきます。

(東京都産業労働局発行「16年度雇用平等ガイドブック」参照)

1. 子どもが1歳6ヵ月になるまで育児休業取得が可能に!(ただし、次のいずれかの事情がある場合)

- (1) 保育所の入所を希望しているが、入所できない場合
- (2) 子の養育を行っている配偶者で、1歳以降、子を養育する予定であったものが、
 - ア. 死亡、負傷、疾病等の事情により子を養育することが困難になったとき
 - イ. 婚姻の解消等の事情により、配偶者が子と同居しないこととなったとき



2. 一定の範囲の期間雇用者も育児休業取得が可能に!(ただし、以下の条件を全て満たす場合)

- (1) 同一の事業主に継続して雇用された期間が1年以上であること。
- (2) 子が1歳に達する日(誕生日の前日)を超えて引き続き雇用されることが見込まれること。
- (3) 子が1歳に達する日から1年を経過する日までの間に、労働契約期間が満了し、かつ、労働契約の更新がないことが明らかでないこと

※一日の労働時間が通常より短い労働者(パートタイマー等)でも、この法律の要件を満たせば、フルタイム労働者と同様に、育児・介護休業を取得することができます。

3. 1年に5日まで、病気・ケガをした子の看護のための休業取得が可能に!

- (1) 対象者など
 - 対象: 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する労働者
 - 日数: 労働者一人あたり、年5日
- (2) 以下の労働者は対象外です。
 - ア. 日々雇用される労働者
 - イ. 勤続6ヵ月未満の労働者
 - ウ. 週所定労働日が2日以下の労働者



※育児休業中の労働者が継続して休業するほか、子の1歳の誕生日から両親で取得者を交替することもできます。

※この他の労働者(配偶者が専業主婦等)を対象外とすることはできません。



ココロを軽くする

4回連続



女性学講座

「はずせませんか？ジェンダーのメガネ」から始まった4回連続講座「ココロを軽くする女性学講座」。講師に迎えた東京女学館大学の加藤千恵さんは穏やかな語り口で、女性学、ジェンダーについてわかりやすく、お話しくださいました。

★ジェンダーは私たちの生き方に根ざしている

私が紹介するのは、女性学のたくさんある分野のほんの一部です。私たちが日々生活しているすべてが女性学に含まれます。関心がある分野の本を読んで、勉強していただければ世界はもっと広がります。

ジェンダーとは、男はこう、女はこうと、私たちの社会の中で思われているものすべてです。言葉にすると、性役割、性別特性といわれています。「男は仕事、女は家庭」というのは、私たちの社会の性役割です。人は誰でも社会の中でいろいろな役割を持っています。親、妻、母、学生、子ども。一人の人が子どもの役割と親の役割の両方をもつとか、働いていれば社員や部長、課長などの役割をもちます。

性役割は性別に応じて期待されている役割が違う、性別特性は性別によって特性が異なる、ということです。性別特性は男女特性とも言い、男は強く積極的で行動的、逞しい、泣かない、体力があるというもの、女は優しく可愛い、気立てがいい、よく気がつく、従順、素直、おしとやかというものです。

人の世話をする看護、介護、保育は女性が多い職業です。肉体労働で大変な仕事でありながら女性に向いていると思われているのはケア(世話)役割だからです。ケア役割である介護・看護・保育の三つを兼ね備えたものが専業主婦です。

内閣府の世論調査をみると、性役割に対する考え方は変わってきています。私が学生の頃は圧倒的に「男は仕事、女は家庭」に賛成する人が多かったのが、今は逆転して「反対」が少し上回っています。欧米では国により差がありますが、「男は仕事、女は家庭」に「賛成」は2割か3割、国によっては1割に減ります。

実際には「男は仕事、女は家庭」とばかり言っていられなくなっており、男性も女性も仕事と家庭両方に入り始めていますが、まだ性別特性に賛成する意見は強く、男と女は性格が違う、向いている分野、能力や適性が違うという考え方が非常に根強くあります。性別特性の考え方がある限り、必ず職業のどこかで性別によりシャットアウトされます。私たちが持っている性別特性の考え方が職業選択の幅を狭めているとしたら、そ

れは本当なのかと目を向けて考えていく必要があります。

★私たちは「ジェンダーのメガネ」をかけている

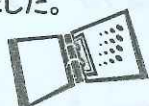
私たちは知らず知らずのうちに「男はこう」「女はこう」と見るメガネをかけていますが、メガネをかけていることになかなか気づきません。「メガネをはずしましょう」と言われても、10年、20年、30年、40年かけているとメガネを取るの簡単ではありません。いきなり取るのは難しいので、まずメガネをかけていることに気づいてください。気づいたら、折を見てはずしてみる。はずしてみても、「だめだ、どうしたらいいかわからない、くらくらしちゃう」という場合は、またかける。いつも子どもに「ほら、男の子でしょ」と言っていたら、「男の子でしょ」と言うのをやめてみたらいかがでしょうか。

どうしてジェンダーのメガネがこんなに強くかかってしまったのか。家庭、学校、メディア、社会、職場など、どういうところで、男はこう、女はこうという性役割観やジェンダーの偏り、思い込み(ジェンダー・バイアス)を学んでしまったのかを考えます。

★学校生活に見られるジェンダー・バイアス

学校では、裁縫・料理はお母さん、電気が壊れた、ヒューズが飛んだ、雨漏り、屋根の補修はお父さんと、家庭の中そのままに、男女別修の教育が行われてきました。男であれば皆パソコンや電気、大工仕事が得意というわけではありません。男に生れた以上は得意なはずだという女性側の期待と、男性側の縛りがあります。逆に、必ずしも料理が得意ではないけれど、女だからやらなくてはいけなく思っている人もかなりいます。不得意なものは不得意と言えたら、どんなに気が楽でしょう。男も女も一人暮らしだったら、雨漏りも電気もパソコンも自分で何とかします。ご飯も炊きます。ところが、両方がいると、どうしても相手が得意だといわれている分野を要求してしまいます。家庭科を男女共修にするのに20年ほどかかりました。それだけ根深い問題だということです。

子どもたちに、男と女は違うという意識を植えつけている場面があります。たとえば男女共学校でマラソンの距離が男子は長く、女子は短い。男であれ女であれ、走るのが得意な人もいれば、不得意な人もいます。マラソンの距離を違えることで、男はこのくらい走れなくてどうする、女は走れなくて良いというメッセージを発しています。男女で分ける理由を聞くと、適性に応じていると言われます。まさしく性別特性です。



何が問題なのかを理解されるのに時間がかかっているもののひとつに男女混合名簿があります。男女混合名簿を導入する学校は増えてきましたが、日本全体では半分を超えた程度です。名簿を分けることで子どもたちにどういメッセージを送っているのでしょうか。名簿を男女で分けると、ほぼ間違いなく男の子が先になります。すると子どもたちの意識の中に、最初は男で、女はその次という意識が形成されます。

さらに、女・男のグループに分けていると、教員が〇〇さんという個人ではなく、「男子うるさいよ」、「女子それやって」と性別で表現するようになり、子どもたちに女集団、男集団を意識させることとなります。子どもたちも、「男子が掃除サボった」、「女子が生意気」というように、自分や相手を所属集団でみてしまい、やがて両者が排他的で混ざりにくくなり、対立が起きやすくなる。別々にすること自体が不自然なので、欧米でも中国でも男女別名簿はありません。「なぜ混合にしなければいけないのか」という意見に対しては、「なぜ別々にしなければいけないのか」と投げかけていくことでしょう。



★ジェンダーにとらわれない選択を

教科書は、何が問題かもほとんど気づかないうちに通過してしまうもののひとつです。ジェンダーに配慮して作られていない分野では、作り手の性役割観が出てくるものがあります。この理科の教科書をご覧ください。実験や観察をしているのは男の子で、女の子は周りで見ているか、脇で支えています。一方、女の子が主役の分野は家庭科です。この教科書では炒め物をしているのが女の子、男の子は横で材料を持っています。不自然には見えないので、知らず知らずのうちに、男と女の関係性が入り込みます。どの分野でどちらが行動的・中心的な役割なのか、どちらが補佐的な役割なのかを教科書で見っていくと面白い発見があります。最近教科書はジェンダーの視点で見直されつつありますが、補助教材や幼児教育の教材では見事に可愛い女の子と積極的な男の子が描かれていることがあります。

学校の委員や係に見られる性役割もあります。応援団、体育係や委員長は男の子、女の子は書記や会計、副委員長、保健係、部活動でも男の子しか入れないものにはアメフトや野球、サッカーと迫力ある激しいもの、強そうなものが多く、女の子しか入れないチアリーディングやダンス部、新体操はいわゆる美しさを感じさせるようなものです。教職員の場合もお茶汲みを女性だけが担当していることがあります。

持ち物や表示等に見られる男女の色分けもあります。代表的なものはランドセルです。女の子のランドセルが黒という場合はありますが、男の子が赤のランドセルを欲しいと言った時に許容できるかどうか。トイレの色分け表示の問題もあります。トイレのプレートくらいでと思うかもしれませんが、外国に行った時にチェックしてみてください。日本以外の国でトイレを男女で色分けしている国はないと思います。温泉の暖簾に赤と

黒で「湯(ゆ)」とだけ書いてあるとき、どちらが男でどちらが女かすぐわかるのは日本人くらいでしょう。

学校、家庭、社会のあらゆるところで、私たちは男女の違いを意識させられています。自分はどうだったかを考えてみてください。特にお子さんに、男の子と女の子がいる方は、ちょっと気をつけてみるだけで自分のジェンダー・バイアスに気づくことができます。

小さい子が、「大きくなったら病気の人を助ける仕事をしたい」と言った時、女の子だったら看護婦さん、男の子だったらお医者さんと思ってしまいませんか？ 男でも女でも医師になれるし看護師にもなれる。他にも臨床検査技師や薬剤師などいろいろな仕事があります。「大きくなったら飛行機に乗る仕事をしたい」と子どもが言った時、男の子だったらパイロット、女の子だったらスチュワーデス(キャビン・アテンダント)と思いつまみず、どちらにもなれることを教えてあげる。性別にとらわれないことなく職業の道を広げてあげられるかどうか大切です。



★社会の中のジェンダー構造

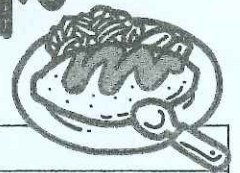
男と女は違うという考え方は何からきているのでしょうか。身体が違う、脳の仕組みが違う、ホルモンが違うのは事実で、これを GENDER(ジェンダー)に対して SEX(セックス=生物学的性別)といいます。生物学的な違いは確かにありますが、だからといって、男と女は性格・能力・適性が違う、だから男と女は社会の中で期待される役割が違う、だから男は仕事・女は家庭に向いている、だから違う教育が必要、ということにはなりません。性別によって担当する役割が異なり、それによって職場、学校、家庭の中で上・下、優・劣が出来上がっているのが性差別です。男と女の差異、ジェンダーを科学的に見た場合、どこまで事実なのかが社会心理学の性差研究で検証されていますが、すでに研究は終わり整理されています。データを見ると、性差よりも個人差のほうがずっと大きいことが分かっています。個人差を考えずに男女差ばかり強調してもあまり意味がありません。「性差より個人差」と考える国では、ではなぜこの領域は女性(あるいは男性)が少ないのかを研究して政策に反映し、成果をあげています。



ジェンダーや性役割は私たちの考え方・生き方そのものに根ざしているのです。それを見直すことで私たち自身の考え方や生活、人生やキャリアが変わることがあります。身近なことから考えているうちに自分に矢が向いてくることもないわけではありません。自分はどうか、ジェンダーにとらわれていないのかと振り返り、自分自身の生きかたを問い直していく…。女性学は、5年、10年、20年経つうちにじわじわと入ってくるテーマですので、時間をかけて楽しみながら取り組んでいただきたいと思います。



夏休み！父子チャレンジ～洋食編～



大好きなお父さんと一緒に3つのことにチャレンジしよう！

日程・内容	講師他	開催場所
7/31(日)10:00～13:00 和風づくり	日本風の会	大田区大森北 4-16-4 大田区立男女平等推進センター 「エセナおおた」(JR京浜東北線大森駅から8分)
8/6(日)10:00～13:00 ふわとろオムライス	茂出木雅章(日本橋たいめいけんシェフ)	大田区池上 1-32-6 池上会館調理室(東急線池上駅より徒歩10分)
8/21(日)10:00～14:00 デイキャンプ	野外パーベキュー (家族で参加)	大田区平和島 4-2-2 平和島公園キャンプ場(京浜急行線平和島駅より徒歩15分)

●申込方法:往復ハガキに①「夏休み、父子チャレンジ～洋食編～」②〒住所、③参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢、④電話番号を明記の上、下記住所までお申込ください。7月25日(月)必着。(なお記入いただいた個人情報連絡や今後のセミナーの案内等の目的外では使用いたしません)

●申込先:〒143-0016 大田区大森北 4-16-4 エセナおおた

●対象:3回すべて出席できる小学生と男性の保護者(3回目のデイキャンプはご家族での参加も可能)

●定員:30組(応募者多数の場合は抽選) ●費用:7/31・8/6は1組1,000円、8/21は一人800円

他に和食編もあります。(締切7月14日)

吉岡しげ美ミニコンサート

「金子みすゞ、与謝野晶子を歌う」

戦後60年、女性の詩に思いを託し、生命の輝きと平和へのメッセージを歌う

8月13日(土)14:00～15:00

エセナおおた多目的ホール

同時開催「平和展・戦後60年、平和の軌跡をたどる」8/11～31

映画上映会

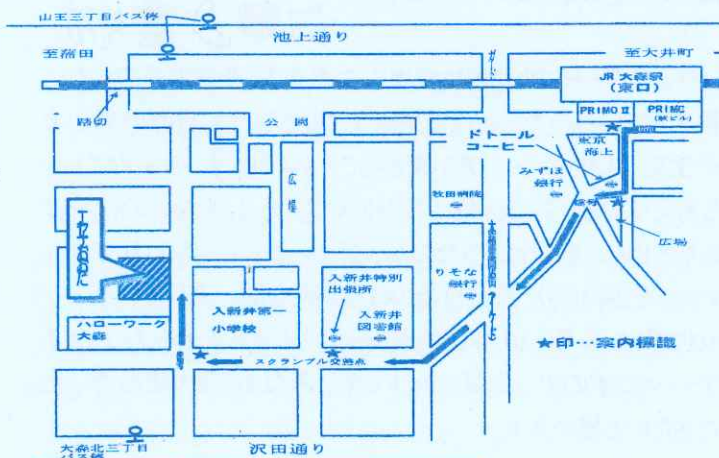
2001年アカデミー賞5部門ノミネート

「ショコラ」

9月11日(日)13:30～15:45

エセナおおた多目的ホール

すべての人を幸せにする不思議なチョコレート。美味しくて、心温まる、勇気と感動の物語。



大田区立男女平等推進センター

エセナおおた

区民自主運営委員会

〒143-0016

東京都大田区大森北 4-16-4

電話 03-3766-6587

03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

e-mail esenaota@yahoo.co.jp

HP URL http://www.esenaota.jp/

